

農芸化学

会津保健福祉事務所 生活衛生部
平成26年度採用

私は

福島の食

が好き！



職歴

- H26～ 県北保健福祉事務所 生活衛生部
衛生推進課
- H31～ 保健福祉部 食品生活衛生課
- R3～ 会津保健福祉事務所 生活衛生部
衛生推進課

わたしを表すKEYWORD

アイスcream

大学でアイスcreamの研究・開発をしていたのがきっかけで、今でも新商品や珍しいフレーバーがあるとなつて購入してしまいます。



アウトドア

休日は、家族や友人と一緒にキャンプをしたり、釣りなどをしてリフレッシュしています。

料理

旅行

父親

福島県の食の安全を守るために

飲食店や食品製造施設等を営業するにあたっての許可・届出事務を行ったり、調理・製造する上で不適切な取り扱いがないかや法令に則って行われているのかも確認し、必要に応じた衛生指導等を行ったりする仕事をしています。

決して派手な業務ではありませんが、施設の調査や衛生指導、講習会を行うことで福島県の食の安全を担っていると感じます。

県職員を目指した理由

私の実家は、原発事故で避難が必要な地域にありました。震災当時は東京の大学に在学中で、家族や友人が大変な中、自分が何もできないもどかしさがありました。

そのため、少しでも福島県の復興のために尽力したいと思い、福島県職員を志望しました。



とある一日のスケジュール

- | | |
|--|----------------------------|
| ● 8:30 始業
来客・電話対応
各種事務処理
出張準備 | ● 13:00 事務所出発 |
| ● 12:00 昼休み | ● 13:30 食品製造施設における衛生監視（外部） |
| | ● 16:00 事務所到着・書類作成 |
| | ● 17:15 終業 |

今までの県職員の業務の中で、印象に残った経験



↑ 施設の立入調査の様子

立ち入りを行った施設の衛生状態が不適切であったことから、どのような改善がなぜ必要なのか丁寧に説明し指導を行いました。

後日、再度立ち入りを行い、改善状況を確認したところ見違えるほど改善されており、営業者の方からも「指摘してもらえたおかげで改善する気になった。ありがとう」と言われた際に、やりがいを感じました。

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

保健所の窓口には、食品関係の営業を新しく始めたいといった相談が多く寄せられます。中には法令で定められた基準に適合していないこともあり、改善を求めることもあります。

相手が実現したい内容をできる限り尊重しながら、どうすればそれを実現できるか、相手の気持ちに寄り添った対応ができる職員になりたいと思っています。



↑ 講習会の様子

受験者への
メッセージ

農芸化学職は、食品や公衆衛生に関する知識が求められ、業務内容も多岐にわたります。時には大変なこともあります。私たちと一緒に福島県の食品の安全を担っていければと思います。

皆さんと一緒に仕事ができることを心待ちにしています。

（令和7年3月現在）